



人力で運び上げた踏み板を、階段に設置する社員ら

木製階段に踏み板設置

山丸大尾

宮坂建設工業 補修の「贈り物」

【広尾】建設業の宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)は21、22日、町丸山森林公園内の遊歩道の木製階段をボランティアで補修した。

同社の地域貢献活動の一環。木製階段は同公園の展望台に至る斜面に設置されているが、踏み掛け部分の土砂が風雨などで流出し、大人でも上り下りに苦勞する状況が続いていた。

今回の補修では延長約160㍍・440段にわたり、踏み掛け部分に幅27㍍、長さ1・2㍍の松材の踏み板を設置した。

現場は重機類などが使用できない環境のため、1枚2・5㍍ある踏み板440枚を人

力で担ぎ上げる難工事。作業に当たった同社社員ら15人

は、雪でぬかるむ足元に気を配りつつ、一枚一枚を丁寧に取り付けていった。

同社は「クリスマスまでには間に合わせたかった」とした。

(長田純一)